

■令和5年度第7回（第332回）都市経営戦略会議結果概要

【日 時】 令和5年12月26日（火） 午後2時50分～午後3時35分

【場 所】 政策会議室

【出席者】 市長、日野副市長、高橋副市長、小川副市長、水道事業管理者、教育長
都市戦略本部長、総務局長、都市局長、副教育長、総合政策監

【議 題】 大宮駅東口周辺 公共施設再編／公共施設跡地活用 全体方針
駅前賑わい拠点における今後のまちづくりの進め方について

< 提案説明 >

大宮駅東口周辺 公共施設再編／公共施設跡地活用 全体方針 駅前賑わい拠点における今後のまちづくりの進め方について、都市局及び教育委員会事務局から次のような説明があった。

- ・ 本議題の「駅前賑わい拠点」は、「大宮駅東口周辺 公共施設再編／公共施設跡地活用 全体方針」（以下「全体方針」という。）において、旧大宮区役所跡地と大宮小学校等の一体的なまちづくりの検討を進める地区として位置付けられている。
- ・ 本日の審議事項1「大宮小学校のあり方について」は教育委員会事務局から説明し、審議事項2「実施方針（素案）について」は都市局から説明する。

●審議事項1

- ・ 始めに、大宮小学校のあり方の検討経緯について説明する。大宮小学校は市内で最も古い校舎となっており、老朽化が喫緊の課題となっている。
- ・ 「全体方針」において、大宮小学校が「駅前賑わい拠点」の対象施設に位置付けられたことから、「学校施設リフレッシュ基本計画」から除外し、まちづくりの考え方と併せて、大宮小学校のあり方について部局横断的に検討を行ってきた。
- ・ 次に、大宮小学校のあり方の検討内容について説明する。大宮小学校の立地について、現地建替えと移転の2つのパターンで検討を行った。
- ・ 現地建替えの検討においては、150年という歴史と伝統を持ち、地域に愛されてきた大宮小学校は、地域のシンボルとして現地に存置することが望ましいと考えた。また、まちづくりの計画とも調和した建替えをすることにより、未来を見据えた魅力あふれる学校づくりが実現すると考える。
- ・ 移転の検討においては、周辺の小・中学校との一体化の方策として、大宮東中学校に移転し、義務教育学校等とする案が考えられるが、学区変更や、移転先の校舎の建替えの必要に伴う教育環境への影響の課題がある。また、地域に根ざしてきた大宮小学校が移転することは、地域コミュニティの観点においても課題が生じる。

- ・ 2つのパターンの検討の結果、大宮小学校は現地で建替えをすることが望ましいと考えた。
- ・ 氷川参道の緑豊かな立地にある大宮小学校は、郷土の誇りとして受け継がれてきた歴史と文化を基盤に、未来を見据えた学校として、新しい時代の学びに対応した魅力あふれる小学校を目指す。
- ・ 最後に、今後の方向性について説明する。大宮小学校の老朽化等の課題を勘案しつつ、「駅前賑わい拠点」のまちづくりの方針を踏まえた上で、都市局とともに地域からの意見等を収集しながら、現地での建替えの検討を進めていく。

●審議事項2

- ・ 次に、実施方針（素案）について説明する。
- ・ 実施方針（素案）は、上位計画及び関連計画並びに地域の課題などに基づき「基本的な考え方」と「まちづくりのコンセプト」及びその展開イメージを示すもの。この実施方針（素案）を基に市民、民間事業者などの皆様と意見交換を重ね、実施方針を作成する。
- ・ 始めに、背景と目的、実施方針の位置付けについて説明する。令和4年3月に「実施方針の骨子」を作成し、公共施設だけでなく周辺の民有地と一体的にまちづくりに取り組むこととした。実施方針は、「実施方針の骨子」の内容を踏まえて、市民、民間事業者等の様々な関係者と連携しながら事業を進めるために作成するもの。
- ・ 次に、上位計画及び関連計画の整理について説明する。上位計画である大宮駅周辺地域戦略ビジョンでは、まち歩きの魅力を高める「おもてなしひろば」の創出が示されている。また、関連計画であるさいたま新都心将来ビジョン改定版（素案）では、「みどりを軸としたウォーカブルの推進」などが示されている。
- ・ 次に、当該拠点の課題について説明する。交通特性の課題は、駅周辺に回遊性を創出するための目的地となる場所の創出などが必要である。
- ・ 建物用途・土地利用の課題は、西側の商業・業務機能と東側の住宅地の双方の特性を生かした土地活用が求められていることなどである。
- ・ 建物の防災性能の課題は、災害リスクの軽減が求められ、建物等の防災性能の向上が望まれることなどである。また、防災拠点等の整備状況の課題は、災害時の避難スペースとして活用できる空間の充実などが必要である。
- ・ 地域資源の状況を踏まえた課題は、質の高い空間である氷川参道を周辺のまちづくりに生かしていくことなどが必要である。
- ・ 大宮駅東口周辺のまちづくりの状況を踏まえた課題は、大宮駅GCS化構想や氷川参道歩行者専用化等のまちづくりとの連携・機能分担を図りながら、ターミナル駅に相応しい奥行きのある駅周辺エリアを創出することが必要である。
- ・ 当該拠点の公共施設である大宮小学校の課題は、開校150周年の歴史を考慮した早期の改築・改修が必要である。
- ・ 市民等からの意見を踏まえた課題としては、多世代交流を促進する場所の創出や、緑や学び等の居場所の創出などが必要であると整理している。
- ・ 上位計画等の整理及び当該拠点の課題を踏まえて、「①公共施設の効果的な更新」、「②周辺民有地との一体的なまちづくり」、「③大宮駅東口周辺のまちづくりとの連携」、

「④民間活力の積極導入」、「⑤目的地となる拠点の形成」「⑥安全性を備えた拠点の形成」を当該拠点のまちづくりにおける6つの「基本的な考え方」として設定した。

- ・ 次に、「まちづくりのコンセプト」とその展開イメージについて説明する。
- ・ 検討の対象範囲は、北側の大宮中央通線、西側の氷川緑道西通線、東側の氷川参道、南側の細街路で囲まれた一体の街区（公共用地と隣接する民有地を含むエリア）とする。
- ・ 「まちづくりのコンセプト」の検討に当たっては、6つの「基本的な考え方」に加え、時代に求められているものと、当該拠点の立地特性の3つの視点から、「みどり・ひろば」と「質・コンテンツ」の2つのキーワードを導き出した。この2つのキーワードから、「ターミナル駅“大宮”至近の居心地の良いみどり」と「質の高いコンテンツ」を「まちづくりのコンセプト」として設定した。
- ・ このコンセプトの実現により、大宮に新たな魅力を生み、周辺の機能をつなぐことで大宮の価値を向上させ、さらには、大宮の防災性の向上につながることを期待する。
- ・ 導入する機能は、「基本的な考え方」と「まちづくりのコンセプト」を踏まえて、賑わい機能、学び・交流連携機能、教育・コミュニティ機能、ひろば、大門町自転車駐車場・集約駐車場とする。
- ・ まちづくりの展開イメージとして、スカイラインの形成、ウォーカブルの推進、ゼロカーボン、コンセプトを踏まえた公共施設の整備方針の4つを設定し、これらの視点で当該拠点のまちづくりを推進する。
- ・ 最後に、今後の進め方について説明する。事業手法の考え方については、大宮小学校は先行的な整備を基本に進め、その他の機能については、周辺民有地との一体的な土地利用に向けた手法の導入を検討する。また、各施設におけるデザインや機能的な連携を推進し、エリア全体の魅力を持続的につくりあげていくための体制等を検討する。
- ・ 旧大宮区役所跡地の暫定活用のイメージは、小学校の建て替え工事中の仮校庭、大宮駅GCS化構想における暫定的な交通広場、まちづくりプレイヤーによる社会実験等の場として活用することを検討する。
- ・ 今後のスケジュールは、市民や企業等と意見交換を行いながら、令和7年度を目標に実施方針を策定する。実施方針の策定後、小学校・公民館は基本計画・設計に着手し、まちづくりは事業計画立案・検討に着手する。

< 意見等 >

- ・ 大宮小学校の移転の検討内容について、移転による学区変更や、移転先の校舎の建替えの必要に伴う教育環境への影響の課題とは、具体的にどのようなことか。
- 大宮東中学校は、大宮東小学校等からの進学先にもなっているため、義務教育学校とする場合には、周辺の学区も変更が必要となり、近隣の複数の小・中学校に通う子どもたちの通学に影響を与える。また、義務教育学校にすることによる大宮東中学校の現校舎の建替えの間、校庭に仮設校舎を建設することから、大宮東中学校の校庭を使用できない期間が長期にわたる。
- ・ 大宮小学校の新校舎完成までの間、現校舎の維持補修はどのように進めるのか。
- 躯体の健全性の調査の結果を踏まえた計画的な対応を検討するとともに、対策が必要

な箇所に応じてその都度対応し、子どもたちが安全に学校生活を送ることができるようにする。

- ・ 大宮小学校に導入する機能について、実施方針の策定と平行して検討する必要があるのではないか。
- ご意見を踏まえて、都市局と教育委員会事務局で対応を検討する。

< 結 果 >

大宮駅東口周辺 公共施設再編／公共施設跡地活用 全体方針 駅前賑わい拠点における今後のまちづくりの進め方については、原案のとおり了承とする。ただし、以下の点に留意すること。

- ・ 駅前賑わい拠点の実施方針の策定に当たっては、まちづくりにおける導入機能・機能配置等と併せて、大宮小学校に導入する機能等を一体的に検討すること。

< 会 議 資 料 >

- ・ 大宮駅東口周辺 公共施設再編／公共施設跡地活用 全体方針 駅前賑わい拠点における今後のまちづくりの進め方について
- ・ 大宮駅東口周辺 公共施設再編／公共施設跡地活用 全体方針 駅前賑わい拠点 実施方針（素案）